

# 第1学年 国語科学習指導案

指導者 井上 愛梨

## 1 題材名

「蓬莱の玉の枝『竹取物語』から」  
～「竹取物語」の登場人物には、どのような魅力があるだろう～

## 2 目標

- ・古文の音読を通して、古文特有のリズムや古典の世界に親しむことができる。  
(知識及び技能(3)ア)
- ・物語の描写から、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについてとらえることができる。  
(思考力, 判断力, 表現力等C(1)イ)
- ・言葉が持つ価値に気づき、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。  
(学びに向かう力, 人間性等)

## 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古文の音読を通して、古文特有のリズムや古典の世界に親しんでいる。	・「読むこと」において、物語の描写から、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについてとらえている。	・言葉が持つ価値に気づき、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしながら、登場人物の魅力について考えている。

## 4 指導にあたって

### (1) 教材観

生徒たちが昔から知っているおとぎ話「かぐや姫」が、中学校で初めて本格的に学習する古典教材となる。「竹取物語」の内容について知っている部分も多い中で、知らなかった部分を原文、現代語訳、あらすじで学習していくことになる。主人公のかぐや姫の心情や顛末についてだけでなく、かぐや姫に求婚した男たちの行動や心情を読み深められる教材である。

### (2) 生徒観

好奇心旺盛で活発な生徒が多く、意欲的に授業に参加する学級である。自分の意見がなかなか言葉にできない生徒もいるが、周囲の生徒が優しくサポートしてくれる場面も見受けられる。

場面が展開していく物語文に対して、苦手意識を感じる生徒は少ないので、「竹取物語」という古文に対しても、親しみ深く読もうとする姿が期待される。しかし、言葉の意味がわからず、内容理解に時間がかかる生徒もいるため、古文の独特な表現や言葉遣いに戸惑いを感じる生徒がいることも予想される。

### (3) 指導観

物語の内容を知っているとはいえ、初めて本格的に学習する古典教材なので、古文特有の言葉やリズムについて、原文はくり返し音読したり、現代語訳と原文を比べたりしながら、古文というものに慣れさせていきたい。また、登場人物の行動から心情をとらえ、想像することで内容理解を深めていきたい。

教科書だけでなく、副教材の便覧なども使用しながら、古典の世界に親しみやすくなるような工夫をしていきたい。

5 単元の指導計画及び評価計画（総時数6時間）

次	時	学習課題とまとめ	評価基準	評価		
				知	思	主
1	1	<p>【「竹取物語」とは、 どのような話だろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「竹取物語」はかぐや姫が地上で生まれてから、月へ帰るまでの話である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文の音読を通して、古文特有のリズムや古典の世界に親しもうとしている。</li> </ul>	○		
2	1	<p>【くらの皇子とは、 どのような人だろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うその体験談を語り、偽物まで用意するずる賢い人、貪欲な人</li> <li>・好きな人のためなら何でもする情熱的な人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が持つ価値に気づき、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。</li> </ul>			○
	2	<p>【帝の行動には、どのような 意味があるだろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぐや姫のいない世界で不死の命を手にしても虚しいだけだという思いから、不死の薬を燃やした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の描写から、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについてとらえようとしている。</li> </ul>		○	
	3	<p>【かぐや姫の心情の変化は どうなっているだろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地上で暮らすようになり、人の心をもつようになったかぐや姫だったが、天人たちによって、人の心を失ってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の描写から、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについてとらえようとしている。</li> </ul>		○	
3	1	<p>【それぞれの登場人物の事の 経緯はどうなっているだろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くらの皇子 「蓬莱の玉の枝ねつ造事件」</li> <li>・帝 「プレゼント焼却事件」</li> <li>かぐや姫</li> <li>・「月へ強制送還事件」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の描写から、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについてとらえようとしている。</li> </ul>		◎	
	2	<p>【それぞれの登場人物の 良い点はどこだろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くらの皇子 →かぐや姫に対する情熱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が持つ価値に気づき、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしてい</li> </ul>		◎	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帝 →愛情深く、潔い</li> <li>・ かぐや姫 →大切な人に贈り物を残していく 優しさ</li> </ul>	る。			
--	--	----	--	--	--

6 本時の学習（2次2時）

(1) ねらい

- ・ 物語の描写から、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについてとらえることができる。

(2) 学習過程

<p>1～6 学習活動</p> <p>○主な発問 ◎深める発問 ・主な意識の流れ</p>	時	<p>●指導 ◇評価（観点）＜評価方法＞ *支援 【ICT】ICTの活用 研究の重点①重点②</p>
<p><b>1 学習の課題をつかむ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「竹取物語」冒頭部分を音読する。</li> <li>・ 歴史的仮名遣いの確認をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>帝の行動には、どのような意味があるだろう</p> </div>	5	<p>*暗唱できない生徒も古文に慣れ親しめるよう教科書を見ながら音読させる。 *即座に現代仮名遣いに直せるように、大型テレビに投影し、問題形式にして答えさせる。【ICT】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あらすじ、原文、現代語訳を聞く。</li> <li>・ 原文を音読する。</li> </ul>	5	<p>●あらすじ、原文、現代語訳を範読する。</p>
<p><b>2 自分で考える</b></p> <p>○あらすじを読んで、帝とかぐや姫はどのような関係にあるだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番気持ちが通じ合っていると思う。</li> <li>・ 帝とかぐや姫は好き同士。</li> </ul>	10	<p><b>重点① 見通しを持たせる工夫</b> ●二人の関係性を教科書や便覧を読んで把握する。 *関係性を把握させるために現代語のあらすじや訳に着目させる。(C→B)</p>
<p><b>3 自分の考えを伝え合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古文を読む。</li> <li>・ 古文単語や現代語訳を確認する。</li> <li>・ 帝の行動を確認する。</li> </ul> <p>◎不死の薬と手紙を燃やした行動には、どのような意味があるだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かぐや姫をきっぱり忘れたかったから。</li> </ul>	5  10	<p><b>重点② 変容を自覚させる工夫</b> ◇ 物語の描写から、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについてと</p>

<p>・煙で思いを届けたかったから。</p> <p>4 みんなで考えを深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班で話し合う。</li> <li>・自分の考えを発表し、共有する。</li> </ul> <p>5 「わかった」「できた」をまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぐや姫のいない世界で不死の命を手にしても虚しいだけだという思いから、不死の薬と手紙を燃やした。</li> <li>・かぐや姫に会えない寂しさから、持っても仕方ないので、燃やした。</li> </ul> </div> <p>6 ふり返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の予告をする。</li> </ul>	<p>10</p> <p>5</p>	<p>らえている。(思・判・表)</p> <p style="text-align: right;">&lt;ノート・発言&gt;</p> <p>*意見を参考にできるよう、班の人の意見を聞く。</p> <p>*「( )」という思いから、不死の薬と手紙を燃やした」という穴埋めで考えさせる。</p>
---	--------------------	--

(3) 参観の視点に関する工夫点

- ・あらずじ、原文から登場人物の関係や心情を想像しやすくなるよう問いかけることができたか。

(4) 板書計画

蓬莱の玉の枝「竹取物語」より

**課題**  
 帝の行動には、  
 どのような意味があるだろうか

**かぐや姫**

- ・求婚をすべて断る
- ・帝とは手紙にやりとりをしていた(便覧)
- ・帝に不死の薬と手紙を残した

←  
月に帰ってしまった

**帝**

- ・「どの山が天に近いか」  
 ↓駿河(今の静岡県)の国にある山
- ・火をつけて燃やすべきよし仰せたまふ

☆帝の行動の意味とは？

○「燃やす」という行動の理由

○帝の心情

**まとめ**

- ・かぐや姫に会えないなら生きている意味がない。
- ・不死の薬なんていらぬ。
- ・燃やした煙に思いをのせている。